

令和4年11月30日



相談室からのお手紙（11月号）

愛媛県立松山中央高等学校

皆さんはユゴー原作のミュージカル「レ・ミゼラブル」の中で歌われている「民衆の歌」をご存知でしょうか。

私はこの歌を息子から教えてもらいました。今年4月3日、ニューヨークのタイムズスクエアでこの歌が高らかに歌われました。ロシアによる攻撃が続くウクライナの人々へ、思いを届けるためのものでした。歌い始めたのはブロードウェイミュージカル出演者の皆さん。集まってきた一般の人たちも加わり、ウクライナに向けて大合唱している様子をYouTubeで見ました。

その動画を視聴してから、息子が好きな音楽を流しているときにはこの曲も度々聞こえてきます。力強いメロディーに乗せられた「レ・ミゼラブル」の物語と曲の歌詞、そして物語の中の民衆たちと今現実に生きている世界の多くの人たちの強い思いに、心を揺さぶられ胸が熱くなります。

歌、音楽というものは素晴らしいですね。文学、美術、舞踏などと同じく、音楽も人に思いを伝えるものです。人の心や世界の美しさを映しだし、表現するものです。静かな曲や美しく優しい曲に心癒やされリラックスすることもあるでしょう。また私たちは、悲しいときには悲しい曲を聴いたりして心を慰めます。音楽には、私たちの心に寄り添ってくれる力があるのですね。

暴力ではなく思いと願いを歌に乗せて、「民衆の歌」は良き未来へと情熱と勇気をくれる音楽だと思います。ご存知ない方はぜひ聴いてみてくださいね。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

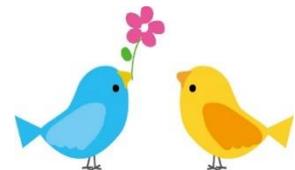
★スクールライフアドバイザー来校予定日（12：00～18：00）

12月 1日（木）・ 6日（火）・ 8日（木）・ 13日（火）

★メールアドレス

kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

★メールは24時間いつでも受け付けています。返信はスクールライフアドバイザーが来校した時に行いますので、お待ちいただくことがあります。生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。



私の人生は、「出会い」や「縁」に支えられて、今があるをつくづく思う。人生には「運命的な出会い」や「不思議な縁」があるものだ。アメリカ人女性ジェンは、私にとってまさにその人だ。

1988年の夏、高校3年生の私はアメリカ留学を控えていた。出発前に、我が家でも留学生を受け入れることになり、その時やって来たのがジェンだった。一歳年下のジェンと私は同じ制服を着て、自転車に乗り、松山市内の高校に通った。アメリカの新学期を迎え、私のホームステイがジェンの家族が住むフロリダ州で始まった。ジェンの運転する車でオーランドの高校に一年間通った。大統領選挙があった1988年、ジェンには応援する政党があり、教室に星条旗を掲揚するべきだと主張するなど、自分の意見をしっかり持っており、私は圧倒されていた。

その後、ジェンはアメリカの大学に、私は日本の大学に進む。大学を卒業したジェンは、1993年再来日、松山中央高校のALT（外国人指導助手）として働くことになった。まだ、大学生だった私もジェンを通して、松山中央高校のことをたくさん聞いた。当時はALTが常駐する学校は珍しかったが、松山中央高校は英語に力を入れており、ジェンもALTの仕事を楽しんでいた。

その後もジェンは次々と自分の「夢」を実現していく。10年間海軍に所属、ペルシャ湾でヘリコプターを操縦したこともある。軍で知り合った男性と結婚、夫に付き添い、厚木基地近くに5年余り滞在した。日本の教育を好み、子どもを日本の幼稚園に通わせていた。4人の子どもの母となったジェンはアメリカに帰国後、再び大学に入り、ナースプラクティショナー（上級専門看護師）の資格を得て、働き始めた。2019年、ジェンは政治家を目指しているとフロリダの両親から聞いた。そして、2022年11月、アメリカでは中間選挙が行われた。下院に立候補し、僅差で相手候補に勝利したジェンは、大きな星条旗の前で、満面の笑みを浮かべ、聴衆に語りかけていた。私の耳に残るジェンの声のままだ。

ジェンと知り合って34年、私はかつて彼女が勤めた松山中央高校の教壇に立つ。いつも忙しそうだが、松山に来る機会があれば、ぜひ松山中央高校を案内したいというのが私の夢である。

教育相談課 Y

★「孤独・孤立相談ダイヤル#9999—通話料無料」12月の試行について
12月1日（木）昼12時～12月2日（金）昼12時まで実施します。
18歳以下のみなさん、心がもよもよしたり、不安や悩みがあったりしたら、
電話で「#9999」にかけて、「1番」を押して、話してみてください。

なお、次々回は12月28日（水）から1週間実施する予定です。

内閣官房